

令和5年東根市議会第2回定例会 一般質問発言通告書

令和5年6月1日（木）午前10時開議

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	元木十四男 議員	1. 文化財の保存・継承について	<p>1. 文化財は、その所有者や代表者によって引き継がれているが、高齢化や生活形態の変化、新型コロナウイルスの影響等により、その保存・継承が途切れるケースが全国的に見受けられる。本市においても多くの文化財が存在しており、文化財の所有者や代表者と市が連携しながら保存・継承すべきと考える。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <p>(1) 本市文化財の指定状況について</p> <p>(2) 本市文化財に対する支援について</p>	教育長
		2. 東根市スポーツ推進計画について	<p>1. 本市のスポーツ推進計画は、策定から10年目を迎え、今年度は、新たな計画を策定する年である。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <p>(1) 現計画の検証について</p> <p>(2) 次期計画の方向性について</p>	教育長
2	山科 幸子 議員	1. 交通政策について	<p>1. 交通政策は、将来を見据え、福祉の観点はもちろんのこと、都市計画や観光、小規模店舗を守るといった産業振興など、まち・ひと・しごとをつくる総合的な観点で、各部署を横断的に充実整備すべきものである。</p> <p>今後、急速に進む人口減少や少子高齢化への対応が急務となっているが、課題が顕在化しているのが住民の移動手段の確保である。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市民の移動手段の確保について</p> <p>1) 地域公共交通計画の策定について</p> <p>2) 交通弱者の交通手段の確保について</p> <p>3) 神町西地区の歩行者の利便性確保について</p> <p>(2) 道の駅整備に伴う交通網について</p> <p>1) 基本計画における整備内容について</p> <p>2) 交通量と観光客急増で発生する「オーバートーリズム」が懸念されるが、地域住民の暮らしに与える影響とその対策はどうか。</p>	市長

3	植松 宏 議 員	1. 家庭ごみの収集所について	<p>1. 市内におけるごみ収集所の形態は場所によりまちまちであるが、地域自治会に任せきりになっていないか。今後、高齢化社会を迎えるにあたり、お年寄りも出しやすいごみ収集所にするべきではないか。以下の内容について本市の対応を伺う。</p> <p>(1) ごみ収集所の個所数及びその管理の実態は。</p> <p>(2) ごみ収集所の設置基準はあるのか。</p> <p>(3) 高齢者のみの世帯でごみ出しの現状は如何に。</p>	市 長
		2. 新型コロナウイルス感染症の今後の扱いについて	<p>1. 法律上の扱いが5類に移行したが、ウイルスがなくなったわけではなく、流行が今後も繰り返すことは間違いないと思われる。いかに共生するかが今後のカギとなるが、現時点で、この度のコロナ禍の中間集約をするべきと考えるが如何か。</p> <p>(1) 今後のワクチン接種の予定は。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症を発症した場合の受診方法は。</p> <p>(3) 集団接種会場の扱いは。</p> <p>(4) 5類移行に伴う診療費の負担について</p>	市 長
		3. 学校給食費の無償化について	<p>1. 物価高騰の中で、子育て世帯の家計を応援する学校給食費の無償化を行う自治体が全国に広がっている。山形県内でも寒河江市をはじめ、8市町村で今年度から無償化に踏み切っているが本市の対応について伺う。</p> <p>(1) 物価高騰下での学校給食の現状について</p> <p>(2) 学校給食費の単価及び保護者の月当たりの負担額は。</p> <p>(3) 学校給食費の未納・滞納者数及び費用の回収状況について</p> <p>(4) 義務教育は無償とするという憲法の観点からも学校給食費は無償とするべきではないか。</p>	教 育 長
4	河村 豊 議 員	1. 第2期東根市総合戦略について	<p>1. 策定から2年経過した現状と課題を伺う。</p> <p>(1) 防災体制などの充実・強化と人材育成について</p> <p>(2) 地域に根差した公園整備について</p> <p>(3) 地域おこし協力隊制度について</p>	市 長

5	片桐 勝寿 議 員	1. 不登校児童生徒の現 状と支援について	<p>1. 昨年10月に文部科学省が公表した「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、小中学校の長期欠席者のうち不登校児童生徒数は244,940人で、前年度調査の196,127人を大きく上回り9年連続で増加し、過去最多となった。このことを受け文部科学省では、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)を取りまとめ、不登校対策の速やかな推進を呼びかけた。</p> <p>そこで、本市の不登校児童生徒の現状と支援について伺う。</p> <p>(1) 本市の不登校の児童生徒の現状について</p> <p>(2) 本市の不登校児童生徒が不登校になった要因について</p> <p>(3) 学校以外の学習活動での指導要録上の出席扱いについて</p> <p>(4) 本市のICTを活用したオンライン授業の現状はどうなっているか。また、オンライン授業やICT等を活用した学習活動を指導要録上出席として扱っているか。扱っていないとすればなぜか。</p> <p>(5) 本市の不登校児童生徒の進学について、現状はどうか。また、どのような課題があるか。</p>	教 育 長
6	福永 邦幸 議 員	1. 農福連携の推進に係 る現状と課題につい て	<p>1. 農福連携が注目されるようになった背景には、2016年に閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」に障がい者や高齢者が最大限活躍できる環境整備の一環として「農福連携」が盛り込まれて以来、全国的にも広がりを見せている。</p> <p>また、2019年に打ち出された「農福連携推進ビジョン」では、より世間に広げていく具体策が打ち出されている。本市の基幹産業である果樹を中心とした農業分野において、障がい者就労支援の現状や農福連携を推進するにあたっての課題、今後の展望について伺う。</p> <p>(1) 本市における障がい者就労支援の現状について</p> <p>(2) 農福連携における課題と展望について</p>	市 長